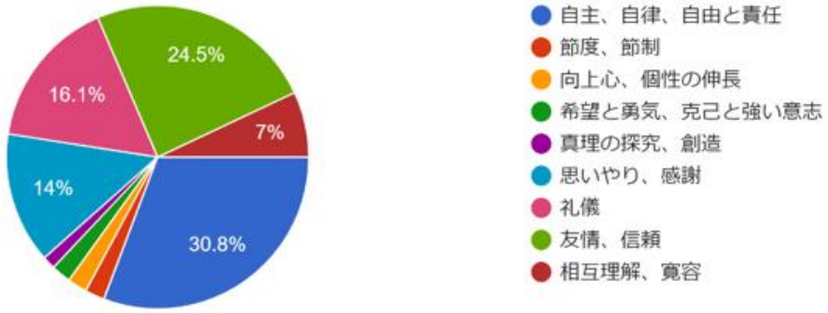
２年次通信　Moreover

令和５年10月19日第5号
青森県立弘前南高等学校

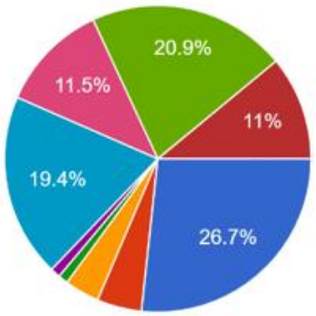
□修学旅行を終えて

修学旅行前後にみなさんにアンケートを実施したのを覚えていますか。

質問項目の１つは、「日本文化を理解することはもちろんですが、自身の内面的成長を図り魅力を高めることも大切です。主に自分自身に関することと、他者との関わりについて焦点を当て、あなたの高めたい道徳的価値（魅力）を考えてみましょう。」でした。



旅行後：あなたが高まったと思う道徳的価値（魅力）は何ですか。



旅行前と比較すると、特に「友情・信頼」（−3.6%）、「自主、自律、自由と責任」(−4.1%)、「礼儀」（−4.6%）が減少し、「相互理解・寛容」（+4.0%）と「思いやり・感謝」（+5.4%）が増加しています。

事後アンケート項目「身に付けた自身の価値を今後どのように生かしたいですか」という質問項目にも、その変化が現れています（以下原文まま引用）。

・些細なことでも感謝を伝えて相手との人間関係をより良いものにし、自分と意見が違った時、イライラするのではなく、一人一人意見が違うのは当たり前だからと思い、話し合ったり、譲り合いをしたりして、思いやりのある優しい人間になりたい。

・当たり前のことは必ず誰かが裏で努力しているから当たり前になっているのでその裏で努力している人に日々感謝していきたい。

・時間を前もって調べて、何分前に移動をすればいいか考え、周りにいる友達などに伝え、行動していきたいです。誰かに任せたり、友達に毎回聞くのではなく、自分で出来ることを考え行動したいです。

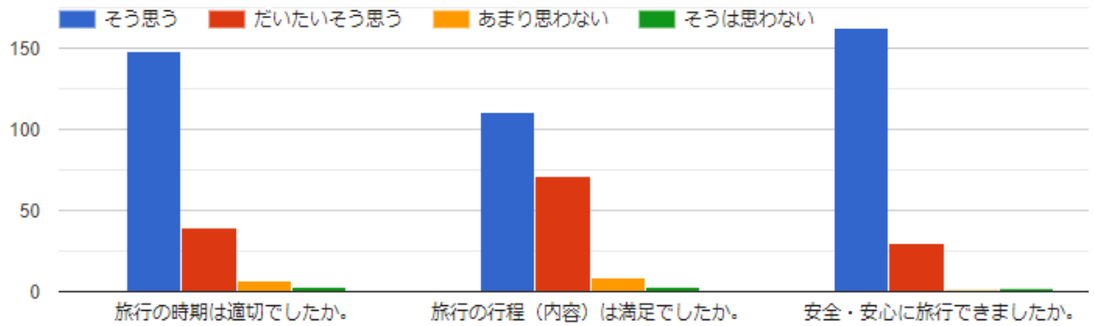
・今後、意識をしなくても会った人に挨拶をできると思う

・今回の修学旅行を通して、やはり何日も同じ時間を過ごすことによって、この人こういう人だったんだとかが出てきたりしました。でもこういう経験をしたことによって、自分の価値観の押し付けをすることができなくなりました。そのため今後は、自分との価値観とかが変わってても、そういう見方もあるよねという考え方を変えていきたいと思いました。また、これからは受験などもあるので、自分の価値観を押し付けずにいろんな見方をして生活します。

・友好関係を築くにおいての適度な距離感を知ることができたのでこれからの人間関係に活かしていきたいと思った。

・今後は友達や、親、私を手助けしてくれる人などに感謝をし、これが当たり前だと思わず自分も相手を助けられるように日々を過ごして行きたいと思います。

【修学旅行全般について】



慣れない集団生活に戸惑いや不満もあったと思いますし、不参加のみなさんもこの期間いろいろなことを感じたと思います。これからはそれぞれの修学旅行期間の経験を生かすことが大切になります。

□□保護者の皆様へ

保護者の皆様の御理解と御協力をいただきながら、修学旅行を無事に終えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、年次PTA役員会による卒業時の教職員への感謝の表し方についてのアンケート結果を御報告いたします。先月 Classi と紙媒体にて実施したところ、過半数が卒業生と教職員に祝菓等の記念品を贈ることを御希望されました。よって、次年度、卒業を祝う会は実施しないこととなりました。詳細につきましては、役員会を経て改めて御連絡いたします。